

家族ぐるみで、 国井組のファンになって もらいたいんです。



管理部長 国井 元樹 さん



株式会社 国井組

所在地: 阿賀野市 業種: 建設業 従業員: 30人

業務内容

国土交通省、林野庁、新潟県、阿賀野市等の公共事業、及び新潟県内の民間企業発注の土木工事を行う。創業50年、安全第一で地域の環境づくりに貢献する建設会社。

私は、できる限り出産・育児という大仕事を夫婦で経験してもらいたいと考えています。なぜなら、例えばお産に立ち会うと妻への感謝の気持ちが強まり、家事や育児への取り組み方や夫婦関係も変わります。家庭が充実すると仕事への向き合い方も変わります。夫婦で協力して育児と仕事を両立する中で、お互いの職場や仕事に対する理解が深まり、これが、結果的に社員が安定して働けるという点につながってくるのではないかと考えているので、父親としても、経営者としても育児休業の取得促進を進めているのです。

社員は「他の人に迷惑がかかるから」と妻の出産時も休みをためらいがちですが、そこは会社側が心理的な負担を感じさせない環境を整えなければいけません。当社では、普段からクロストレーニングを実施し、全員にさまざまな業務を経験してもらっています。作業コストはかかりますが、仕事の属人化防止やコミュニケーションの促進につながっており、会社にもメリットの大きい取組です。また、会社側から出産予定を聞いて仕事を調整し、お産が始まった時にすぐ抜けられるような配慮もしています。

最近では、家族との時間をより充実させられるよう、年次有給休暇の計画的付与とリフレッシュ休暇を導入しました。納涼会や忘年会は、全額会社負担でご家族も参加可能に。建設業は、働いてくれる社員がいてこそ成り立つ業界です。だからこそ、社員の家族にも国井組のファンになってもらい、国井組で働く社員を支えてほしいと思っています。

核家族で共働きの世帯が増えている現代社会では、ワークライフ・バランスの推進は会社の責務だと考えています。私達は、単に社員のためではなく、会社の生き残り戦略の一つとして取り組んでいるのです。そして、長く安定して働いてもらうために、社員には「仕事一筋」になるのではなく、視野を広く持って仕事と家庭のバランスを取ってほしいと思っています。

こんな取組を推進しています!

取組 1

育児休業取得予定の確認

子どもが生まれた際には、育児休業の取得予定を会社から確認

取組 2

クロストレーニングの実施

普段から社内で業務の相互理解を促し、長期で業務から離れやすい体制を構築

取組 3

年次有給休暇の計画的付与

会社の設立記念日などを利用して、計画的に休暇を割り振り、会社全体で休める日を設定



イクメン社員
国井 元樹 さん
(38歳)



まずは自分が 「育児休業第一号」を取得しました。

もともと「休む」という発想があまりない職場だったので、まずは自分が取ることにしました。第2子、第3子と、自分が不便に感じた部分を改善しながら育児休業を2週間ずつ取得。復職後も融通をきかせてもらいながら働いています。

私の職場に近い保育園に預けているので、子どもの送り迎えは私の役目。子どもが発熱した際も私が迎えに行きます。急な休みを可能にしているのが、社内システムのクラウド化です。これによって、生活に合わせて作業を進められるようになり、属人化の解消にもつながっています。

現在は若手も多く、社員の半数以上が20代、30代です。今後、育児休業を取得してもらいたい社員が増えてくるはずなので、その時に備え、柔軟に休みを取り、スムーズに復職できる職場づくりを進めていきたいと思っています。

2018年3月発行



私たちはイクメン応援宣言企業です!

新潟県では、男性労働者が育児に参加しやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を「イクメン応援宣言企業」として登録しています。

もっと詳しく知りたい方は

にいがたイクメン応援宣言



<https://niigata-ikumen.jp>